

令和7年度 宮崎工業高等学校 定時制 学校関係者評価

<p>1 教育目標 校訓「努力」・「誠実」・「創意」の具現化を図り、豊かな人間性と礼節を身につけ、健康でたくましい身体をつくとともに、専門的知識・技術の基礎・基本を習得した、科学技術の高度化や技術革新に対応できる工業人材を育成する。</p>			
<p>2 教育方針 (1)本県工業高校のフラッグシップ校として、その伝統や校風を継承するとともに、科学技術の高度化や技術革新に対応できる実践的な知識と技術を身に付けた、地域社会に貢献できる工業人材を育成します。 (2)校訓「努力・誠実・創意」のもと、学習活動や部活動を通して確かな学力と礼節を身に付けた心身共に健康でたくましい、次世代を担う気概溢れる人材を育成する教育を目指します。 (3)個に応じた学びなおしの学習支援と、多様な社会を生き抜く力を育む教育課程を編成するとともに、就業体験を通して自己有用感を高め、自己実現を図る教育を推進します。</p>			
<p>3 スローガン 「宮エPRIDE 夢実現！」</p>			
	重点目標	自己評価	関係者評価
1	豊かな人間性の醸成	2.92	3.25
2	確かな学力の育成	2.76	3.00
3	キャリア教育の推進	2.87	3.25
4	モノづくり教育の充実	2.86	3.25
		総合評価	
		3.02	

評価委員による学校への意見・要望等

定時制生徒の学習法や基礎力向上のために各種施策をとられている中で、不参加生徒への意識付けの課題がございました。そもそも参加できない理由があると思いますが、本音で理由が言える環境も必要と感じます。本当の理由の中に問題や原因がございませぬ。この中身を確実に把握できなければ、課題・対策に繋がりませぬで、2WAYコミュニケーションをお願いいたします。

私は、モノづくりの現場育ちですので、何か問題があれば「現場・現物・現実」を先ずは、確認いたします。ここが把握できないと何も進まないと考えております。

定時制の先生方が、生徒さんの人生をも視野に入れて指導をなさっている姿が浮かぶ報告書でした。学力については、本当に躓いたところに戻っての指導も成果が出てきているとのことで、学ぶこと、わかることをうれしく思う生徒さんが増えているのだろうなと感じています。

通信制の学校も増えていますが、やはり顔を合わせて、学びあえる仲間がいる定時制は大事な学校だと思います。ちょっとした行き違いから起きている少しだけマイナスな今を、プラスの人生に変えるきっかけにあふれた学校です。地域にとって大切な場です。学校がずっと存続できるよう私たちも、支えていきたいと心より思ったこの3年間でした。又何かあれば、お声掛けください。

デュアルシステムを取り入れてキャリア教育の推進やモノづくり教育の充実に力を入れられていたことがよく分かりました。色々な企業とのやり取りで先生方の負担も大きいとは思いますが、生徒が地元企業を知るうえでとても意義のある取組だと思います。是非今後も続けて頂きたいと思ひます。また、インターンシップを就職先として選んだ生徒がいれば、割合と決めた理由など企業にもフィードバックして頂けると、インターンシップの活性化にも繋がるのではないかとと思ひますのでご検討いただければ幸いです。